



東京タワー
長嶋茂雄が公式戦にデビューし、『有楽町で会いましょう』が一杯飲み屋のラジオから流れてい

た昭和33年に産声を上げた東京タワーが50周年を迎えました。完成まで一年半。パリのエッフェル塔を抜いて高さ333メートルの当時世界一の高さの塔の誕生となつた東京タワーは総合電波塔という大きな役割を担っていました。総工費約30億円、今の価値に換算すると370億円を超えるような一大プロジェクトでした。

鉄骨で組み合わされていますが、当時良質な鉄が足りなかつた為、主に大展望台の上は朝鮮戦争で引き払われた戦車の鉄が使われました。

基本的には五年に一度のペンキの塗り替えをし

て変わつていません。塗りか

ヨシナカ新聞

11月号

発行所
株式会社ヨシナカ
東京営業所
TEL: 03-3555-0796
FAX: 03-3553-8444

東京タワー

り替へは、毎日日の出からオーブンまでの時間に一年かけて行うそうです。昨年がその年だったそうです。

「東京タワー」という名称は公募で決まりました。ただ、「東京タワー」と書いた人は大しておらず、応募者8万6千人のうち、2.6%にあたる223通しかなく、圧倒的に多かったのが「昭和塔」。あと「日本塔」や「麒麟塔」というのもあつたそうです。では何故「東京タワー」と名付けられたのかというと、審査委員だった徳川夢声の最後の一声で決まったのだそうです。

台風や雷の時は東京タワーに登るお薦め時なのだそうです。前者は風で雲が流され空気が澄むので景色が良く、後者は360度パノラマの稲光が楽しめるのだとか。

あと、東京タワーには「タワー大神宮」という神社があり、勿論東京23区で一番高い所に位置している人ではお薦めだとい

く、最後に誕生日当日に行くと大展望台の入場料が無料になり、カフェでケーキが貰え、バスデーカー

ドも貰えるそうです。

入浴時のちょっとした裏技



入浴時に、固形石鹸に付いた髪の毛を取るのに爪を食い込ませて取ると爪と指の間に石鹸が挟まってイライラしたりしますよね。

こういう時は髪の毛の付いた方の石鹸をゆつくりと、お尻でナデナデすると簡単に取れるとラジオで聞き、半信半疑でやってみました。

なんと、簡単に取れるではありませんか。

あと、ヘアブラシに付いた髪の毛や汚れをお風呂で簡単にキレイにするやり方もあるそうです。入浴時に汚れたブラシにシャンプーを付け、そのブラシで髪の毛を洗い、その後シャワーで洗い流すと髪の毛もホコリもキレイに取れてしまうそうです。

K社員のピアノ奮戦記 第34話 『尽きぬ悩み』

スタカートもなんとなく形になりハノンの練習も徐々に進むようになりました。もともとハノンは指の動きをスムーズに早く動かす為の練習。乗ってきた私はハノンの練習時間を長く取って早く上手になりたいと思うのですが、ハノンをやり始めると2分もくしないうちに両腕の小指の根っこから肘にかけて繋がっている筋が痛くなって続けて弾く事が辛くなります。それでも無理して続けると痛い箇所が熱くなってきます。これ以上続けると手や腕を痛めてしまいそうで怖い。ハノンってなんてキツイ練習なんだろう。。。 次のレッスンで、その事を

生に打ち明けると、「それはですね、脱力出来ていないからだと思いますよ」

ん、脱力？ 要は腕の力を抜いて弾きなさいということなのだろうか？

「脱力ですか。私の脳だったら既に脱力出来ているんですけど」

ボケるとよく笑って下さる先生なのですが、この時は苦笑しながら、「Kさん、そんなに自分を落とさなくていいですよ」

あら、ここはボケるところではなかったのか。それだけ脱力って大事なんだなと少し反省する私でしたが、その大切な脱力を体感するのまでに、それから二年半もの月日を要することにも思いませんでした。

ステンレスname知識 磁性や比重について

一般にステンレスは磁石に付かない(非磁性)と思われがちですが、マルテンサイト系及びフェライト系ステンレスは鉄と同じように強い磁性を持っています。

ニッケルを含むオーステナイト系ステンレスは焼き鈍し(やきなまし)加工を施した状態で非磁性になりますが、切削や

圧延、伸線等の加工を施すと磁性を帯びます。

比重に関しては、代表鋼種を例に上げますと、オーステナイト系ステンレスのSUS304で7.93、フェライト系ステンレスのSUS430で7.70、マルテンサイト系ステンレスのSUS410で7.75です。なお、比重とは水1リットル平方センチメートルの水の重さ1グラムに対しての物質の重さの比率です。

「勝負脳」を鍛える

久しぶりに本の紹介です。『勝負脳』の鍛え方(講談社現代新書 林成之著)

脳神経科学、脳外科、救命救急医学の専門医で、脳低温療法開発で世界的な評価を受け、北京オリンピックで金メダルを二つ獲得した北島康介選手をメンタル面で支えた著者の書です。

「勝負脳」とは著者の造語で、スポーツや仕事、勉強でうまくいかないのは脳の使い方が良くないからで、脳を鍛えることによつて成功に繋がると、身近な例でわかりやすく書かれています。

印象に残つたのは、野球で試合の勝敗を分けるピンチを迎えた投手に監督が「リラックスして投げる」と言うと、この言葉を聞いた投手の脳は戦闘モードから離脱し悪い結果に繋がる事が多いそうです。

脳の疲労は体の疲労と違って簡単に回復しない事など、脳に関する問題点の原因と対策が具体的に書かれています。

ちなみにK社員は、まずは発表会のピアノの演奏に役立てたいと言っておりまして。果たして結果はいかに・・・